

メキシコ – 米大統領選を受けてペソは最安値更新 –

＜米大統領選はトランプ氏が勝利＞

11月8日（現地時間）に行われた米大統領選で、メキシコに対して過激な発言を続けてきた共和党候補トランプ氏が勝利しました。

これを受けてメキシコペソは急落し、日本時間9日14時ごろには一時1米ドル＝20.80メキシコペソと対米ドルでの最安値を更新しました。

その後は少し戻したものの、9日の海外終値は1米ドル＝19.76メキシコペソ、1メキシコペソ＝5.3164円と前日比で大きく下落しています。

＜緊急会見を開催＞

トランプ氏の米大統領選勝利を受けてメキシコのミード財務公債相とメキシコ中央銀行のカルステンズ総裁は現地時間9日の午前7時から緊急会見を開催しました。会見では国民や市場関係者に冷静さを保つように呼びかけるとともに、必要な時は措置をとる姿勢を示しています。

＜今後の見通し＞

米大統領選に勝利したトランプ氏はメキシコの経済成長の要因ともなったNAFTA（北米自由貿易協定）の見直しを公約に掲げており、今後のメキシコ経済への影響が懸念されます。ただ、トランプ氏による政策運営には不透明感が強いものの、上下両院で共和党が過半数を獲得した議会によりある程度コントロールされ、過激な政策がすぐに実行される可能性は低いと見込まれます。

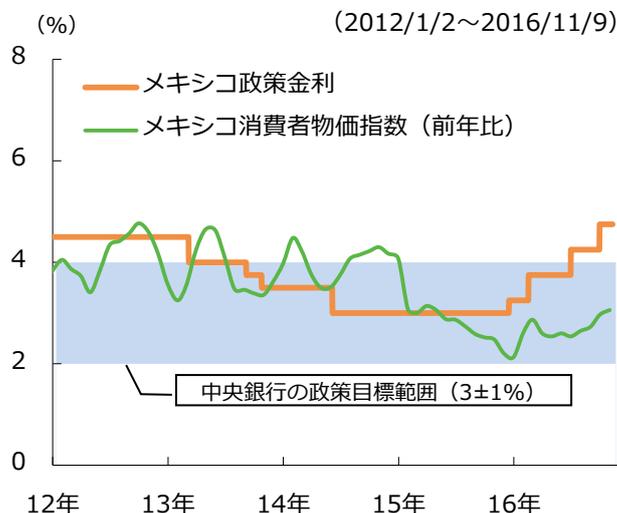
17日に予定されている金融政策決定会合では、市場動向に応じて追加利上げや為替介入などの対応策が検討されると思われます。

当面はトランプ氏の勝利に対する懸念からメキシコペソは不安定な動きが続くと見られますが、同氏の政策運営に対する不透明な部分が徐々に明らかになるにつれて過度な懸念が後退していくとみられることや、中銀や政府の強固な対応姿勢がメキシコペソをサポートする要因になると考えられます。

＜メキシコペソ為替の推移＞



＜インフレ指標と政策金利の推移＞



*政策金利は発表日ベース

*消費者物価指数（前年比）は2012年1月～2016年10月

出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会